

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		根拠法令・例規等	男女共同参画社会基本法 備前市男女共同参画まちづくり条例
事業開始年度	05	問	まちづくり推進課
大項目 基本目標	05	担	まちづくり推進課
中項目 基本施策	02	当	参事 高見元子
小項目 施策	02	課	0869-64-1823
事務事業名	01	電	0869-64-1823
		合	このシート作成に要した時間
		先	7.0 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	市・市民・事業者	
目的 (何のために)	男女共同参画のまちづくりの推進に関し、様々な取り組みが行われているが、社会的につくられた性別の意識や、性別による固定的な役割分担に起因する課題は今なお存在している。市としては、男女共同参画のまちづくりを進めていくための具体的施策の方向を示す基本計画を定め、男女がともに支え合い、輝いて生きることができる男女共同参画のまちづくりを推進する。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	男女共同参画への意識づくり、男女共同参画の意識啓発や促進を図ることにより、備前市の男女共同参画のまちづくりが推進できる。	

事業の実績		Do
細事業名	事業の説明	優先度
男女共同参画啓発・推進事業	男女共同参画に関する講座等の開催、広報紙等による男女共同参画の啓発を図る。	
きらめきフェスタ事業	男女共同参画社会の実現に向けて講演会、また講演等の市民参加の催しを開催し、意識啓発を図る。	
ウィズびぜん運営事業	男女共同参画社会の実現に向けたグループ活動や学習、情報交換の拠点施設としての事業	
研修会等参加負担金	男女共同参画の推進事例の収集及び意見交換をする研修等への参加負担金	
目的を達成するための実施した事業	男女共同参画基本計画策定事業	平成24年に5ヶ年計画で28年度を目標年度に策定した第2次基本計画の施策を推進し、28年度に新たに第3次基本計画を策定する。
	市男女共同参画推進委員	情報誌の企画及び編集に関すること等の任務に携わり男女共同参画の施策を推進する。
	市男女共同参画推進審議会	市長の諮問に応じ、市の男女共同参画のまちづくりの推進に関する重要な事項を審議する。
	市男女共同参画推進本部	男女共同参画のまちづくりに関する施策の総合的な調整、企画及びその具体的な取組に関する事務
	DV対応	DV被害者の相談事業、DVに関する広報・啓発を図る。

事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
決算額	事業費	千円	902	1,484	834
	必要人員	人	1.38人	1.31人	0.73人
	事業費	千円	12,782	11,961	5,999
財源	国庫支出金	千円	465	527	521
	受益者負担				
	繰入金				
	市				
	その他( )				
	一般財源		13,219	12,918	6,312
	受益者負担比率	%	-	-	-

結果指標名		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
結果指標	結果指標量	説明	きらめきフェスタ参加者数(人)		
	対前年比	%	550	532	550
	活動コスト	円	-	96.7%	103.4%
	単位当たりコスト		2,032,013	1,881,686	1,459,665
			3,695	3,537	2,654

事業の成果						(平成24年度事業)
成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値	
地域や職場で男女が対等に活躍できていると感じている市民の割合	目標値(A)	20	20	20	25	
	実績値(B)	20.6	20.1	17.5	到達目標値	
	達成率(B/A)	103.00%	100.50%	87.50%		30
成果指標設定の考え方・式や説明						
市民意識調査回答・・・4. 市民主体の協働のまちづくり (2)ふれあい豊かなまちづくり (施策) 男女共同参画社会の形成						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない事業の内容が一部の受益者に偏っている対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である事業開始当初の目的から変化してきている事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	A
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地があるコスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい受益者負担率は適正である	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	手段	受益者負担率を見直す余地があるサービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	B
有効性の評価	目的達成度	成果指標の設定は適切である成果指標の到達目標値は達成できそうである成果指標達成率は前年度と比較して向上している成果指標達成率は80%未満となっている現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	市民参画度	法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい事業について積極的にHPや広報等で情報提供している事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	B

進行年度(H25年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	平成23年度に策定した第2次男女共同参画基本計画(計画期間 平成24年度～28年度)に沿って施策を推進する。						

総合評価		総合評価
第2次男女共同参画基本計画(計画期間 平成24年度～28年度)に沿って、男女共同参画の啓発事業を実施し、市民の男女共同参画に対する意識の高揚を図った。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
		B

平成26年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	平成23年度に策定した第2次男女共同参画基本計画(計画期間 平成24年度～28年度)に沿って男女共同参画社会の実現に向けて、市民への意識啓発を継続していく。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しながら